

(S27-10 用)

研究課題名	子宮平滑筋肉腫の診療実態に関する調査研究 (JGOG2049S)
研究期間	研究期間：2014年12月1日～2017年12月31日 症例集積期間：2014年12月1日～2015年12月31日
研究の目的と意義	子宮平滑筋肉腫の新たな治療開発を模索するため、本邦における子宮平滑筋肉腫の疫学、診断、診療の実態とその予後を調査することを目的とします。 本調査により本邦における子宮平滑筋肉腫に関する実態が明らかになるとともに診断、治療に関するエビデンスを構築することが可能と考えられます。
研究方法	子宮平滑筋肉腫と診断された症例に対して、下記の調査項目に関するデータをカルテから後方視的に集積し、治療法に関する実態と予後に関する解析を行います。各症例は施設内で匿名化し、報告は各施設名と連続した番号のみで行います。(カルテ番号、氏名、イニシャルは使用しない。例：京二日赤-01) 登録された症例のうち、初回治療例については中央病理判定を行います。 患者背景、病理所見、治療内容、経過および転帰、病理診断(四国がんセンターにて実施)  以下の項目を中心に解析を行いません。 ①子宮平滑筋肉腫の疫学特性、②子宮平滑筋肉腫の病理学的特性、③子宮平滑筋肉腫の病理学的特性、④子宮平滑筋肉腫の治療の実態、⑤予後因子の解析
個人情報の保護、 研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。
結果の公表	この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。
問合せ先	京都第二赤十字病院 産婦人科 (職名・氏名) 部長・藤田 宏行 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL：075-231-5171 (代) FAX：075-256-3451 (代)